

診療科別主要手術件数（診療科別上位 3 位）

症例数の多い当院で実施された手術件数を各診療科別に集計。項目は K コード、STEM7 コード、症例数、平均年齢で、上位 3 位を掲載しております。

<集計の条件>

手術術式の点数表コード（K コード）を主として集計し、軽微な手術（創傷処理や皮膚切開術、輸血関連、加算項目等）は除外とした。また、整形分野においては部位毎の症例数としてカウントし術式名称がある。

<項目の定義>

- ☐ K コード：医科点数表にて定められたコード
- ☐ STEM7 コード：外保連で定められたコード
- ☐ 平均年齢：対象手術を受けられた当時の患者様の満年齢の合計数を症例数で除した値

【消化器内科】

K コード	STEM7 コード	術式名称	症例数	平均年齢
K721 1	Q51 10 21	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 センチメートル未満）	126	64.3
K687 1	Q37 16 21	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのもの）	11	67.6
K721 2	Q51 10 21	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径 2 センチメートル以上）	6	66.1

考 察

積極的に内視鏡下手術を行える医療機関が近隣に少なく、且つ、消化器内科の常勤医と平日は常時内視鏡検査が出来る体制を整備出来ていることが、症例数を減少させることなく安定的に実施出来ている。健診における検査数も多い為、結果として手術に繋がっていると考えます。

【外科】

K コード	STEM7 コード	術式名称	症例数	平均年齢
K633 5	QAJ 35 00	ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	8	65.2
K672 2	Q81 12 11	腹腔鏡下胆嚢摘出術	7	64.3
K719 3	Q54 13 11	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	5	73.4

考 察

手術目的で他院から紹介患者さんもあり、且つ、消化器内科の内視鏡検査で発見され、開腹手術が必要な疾患についても実施出来ている。手術が出来る体制を整備することで症例数も増えるため、今後も注視していきたいと考えます。

【整形外科】

Kコード	STEM7コード	術式名称	症例数	平均年齢
K082 1	BA2 34 04	人工関節置換術（膝）	32	71.4
K059 1	B12 43 00	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家骨移植）	19	75.8
K046 2	B44 30 04	骨折観血的手術（前腕）	19	76.3

考 察

患者さんの平均年齢が高く、加齢が原因の一つでもある変形性膝関節症に対する人工関節置換術の症例数が多くなっています。次いで、転倒による骨折に対する骨折観血的手術も多く見られる手術のひとつです。人工関節置換術や骨折観血的手術の際、骨欠損が見られた際には自家骨による骨移植も行っており、上記表にも表れております。

【眼科】

Kコード	STEM7コード	術式名称	症例数	平均年齢
K282 1 □	D4E 12 02	水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）（その他のもの）	54	68.8
K282-2	D4E 16 12	後発白内障手術	10	69.4
K276 1	D4G 18 42	網膜光凝固術（通常のもの（一連につき））	2	74.5

考 察

加齢性白内障に伴う水晶体再建術が昨年に引き続き、症例数が最も多い結果となりました。日帰り手術が可能となり、手軽に受けられる方が多いと感じます。手術を受けられた方の平均年齢は他科同様高く、外来を受診する方も比較的高齢者の方が多くなっております。

【耳鼻咽喉科】

Kコード	STEM7コード	術式名称	症例数	平均年齢
K331	D64 18 20	鼻腔粘膜焼灼術	31	68.1
K300	D56 16 22	鼓膜切開術	25	67.4
K286 1	D54 17 22	外耳道異物除去術（単純なもの）	5	64.7

考 察

漏出性中耳炎や鼻出血に関する手術が多い結果となりました。耳鼻咽喉科の標榜が少ないこともありニーズが高く、年齢層も子供から高齢者まで幅広く、外来で行える侵襲性が低く治療効果の高い手術が症例数に反映されているものと考えられます。